

尾道市立美木原小学校 学校図書館



ようこそ みきはら・ほんのもりへ！



尾道市立美木原小学校は、平成29年4月に、尾道市北部4校が統合してできました。子供達の「豊かな言葉と心を育てる読書活動」を教育活動の基盤として、学校教育目標『夢と志を持ち、主体的に学ぶ子供の育成』のもと、教育活動を推進しています。統合を機に、学校図書館を子供達の憩いの場、学習の場とするために、環境整備や蔵書整理など学校・保護者が力を合わせて取り組んできました。平成30年度は、文部科学省「学校図書館ガイドラインを踏まえた学校図書館の利活用に係る調査研究」・「尾道市読書活動推進指定校」の指定を受け、子供や保護者のニーズに合った、常に深化する学校図書館を目指して取組を進めています。子供達が考えた学校図書館の名前は「ほんのもり」、そして、読書活動の中心となる委員会は「美木原よつ葉文庫」。わたしたちの学校図書館をどうぞご覧ください。



図書館へのアプローチ

科学の本のコーナー



美木原キャラクター「よつ葉ちゃん」がお出迎え



大人気の「科学の本」は、虫・鳥・植物などジャンル別に分かれています。

調べ学習



絵本のコーナー



絵本のコーナーを玄関ホールから図書館入口に移動しました。ホールから図書館に子供達を誘います。



図書館に入ると、「はらべこあおむし」がお出迎え。おなかをすかせたあおむしは、何を何個食べたでしょう？

新刊コーナーも充実



玄関ホール



新聞のコーナーもあります。



読書活動の紹介 H29.4月～H30.3月



① 図書を活用した国語科の授業

【教材文と補助教材の図書で進める国語科の学習】

今年度は、国語科において、教材文と補助教材という位置付けで、図書を活用した授業・並行読書にも取り組んでいます。開放廊下という環境を生かし、教室前の廊下に学習で使っている図書を置き、単元の始めから読んでいきます。学習が進むにつれて、読む内容も深くなっていきます。



5年生「和の文化祭を開こう」



2年生「どうぶつひみつクイズをつくらう」

② 公共図書館との連携

【移動図書館・団体図書貸出の利用】

月1回、尾道市中央図書館からの移動図書館がやってきます。この日は、学級に置く50冊を子供達を選びます。子供達は次の月に読む本を一生懸命選書します。

また、学習で活用する本は、団体貸出を利用します。学校図書館の本だけでなく、たくさん本を子供達の身近に置き、本をすぐに手にすることが出来る環境をつくっています。



③ 読書ボランティアとの連携

【ボランティアによる読み聞かせ】

年間を通して、尾道学校で本を読む会「ルピナス」と「えほん見楽る」のほりたみつぎさんによるお話会を開いています。読書イベントとして、4月「はじめましてのお話会」(1年生)、11月「絵本とピアノのお話会」(全校)、3月「卒業おめでとうお話会」を開催します。また、読書週間には「先生によるお話会」も開催し、絵本の楽しさを子供達と共有します。



④ 保護者との連携(保護者啓発)

9月27日 教育講演会 ほりたみつぎさん

保護者を対象に、「読書は可能性を広げる」を演題として、本の歴史・本の種類・本の分類法の理論、また、本の魅力をブックトークでたくさん紹介してくださいました。幼い頃に読んでもらった本は、大人になっても忘れないという子育ての実体験をもとにご講演いただきました。



⑤ 学校司書の配置



学校司書は、毎週金曜日に来館。新刊の登録や掲示作り、教科で使う図書の選書などの業務を行います。また、児童の選書の助言をしたり、読みたい本のリクエストなどを受けたりして、購入計画に反映させます。



⑥ 教職員研修

【読書の校内研修「読み聞かせの達人になろう」】

8月21日 神戸親和女子大学 笹倉剛教授



笹倉先生に本の持ち方を教わる職員

8月には、講師を招聘して、校内研修を行いました。たかが読書、されど読書。本の持ち方や語り方、めくり方の基礎を演習し、少しの技で子供達をぐっと引き寄せることが出来ることを体験しました。



「どうやったら分かりやすいかな?」
使い方資料を制作する職員

また、児童が図書資料を利用しやすいように、図鑑などの使い方の方のパネルを職員で制作しました。このパネルは、利用指導にも活用しています。



学校図書館どう使う？H30.4月～H30.9月



イ 図書委員、頑張る！

平成30年度は、先に述べた指定事業をいただき、自由読書だけでなく、教科への活用を更に発展させる取組を進めています。子供や教職員、保護者のニーズに応える学校図書館の在り方を探っています。

① 進化する学校図書館

ア みんなで創る学校図書館

○図書館へのアプローチ



○参考資料も充実！



図書委員会のメンバー一人一人が、学校中に「おすすめ本」を展示しています。毎日の貸出の他に、読書イベントの企画運営、図書館の利用状況調査など、積極的に活動を行っています。

ウ 保護者も使おう、学校図書館

2学期より、保護者の学校図書館利用も始めています。希望された保護者には、貸出カードを作り、1ヶ月5冊まで本の貸し出しを行っています。また、本校友会会の教育部のみなさんが、学校図書館司書の勤務日に合わせて来校し、図書館の環境整備を行って来ています。

② NIE 新聞に慣れ親しもう

ア 新聞を活用した授業

4年生「みんなで新聞を作ろう」 5年生「新聞記事を読み比べよう」



6年生「投書を読み比べよう」



4年生以上は、国語科の学習で、1～3年生は、新聞に慣れ親しむ活動を行っています。

各階には、子供新聞や一般紙を毎日置き、自由に読むことが出来る環境を作っています。気になった記事は付箋をつけておくと、翌日、各学級に記事が届けられるシステムを作っています。

③ 教職員研修

ア まわしよみ新聞を作ろう



イ ビブリオバトルに挑戦



第1回のチャンプ本は、「9月0日大冒険」でした。

8月に尾道市立大学の塚本・光原教授による「ビブリオバトル」の研修を受け、本校教職員4名が「ビブリオバトル」にチャレンジ。10月には5年生が挑戦します！